

ポートランド姉妹都市提携65周年記念ロゴの投票について①

■ 候補作品

札幌市立大学デザイン学部の学生から
募集した10作品



ポートランド姉妹都市提携65周年記念ロゴの投票について②

■投票期間

2024年3月13日(水)～3月24日(日)

■投票方法

市公式ホームページから投票

■投票・選考結果

4月上旬に市公式ホームページにて発表予定

■記念品プレゼント

**決定された記念ロゴに投票した方の中から、
抽選で10人に記念品を贈呈**

●札幌・ポートランド姉妹都市提携65周年記念ロゴデザインの投票について

札幌市では、今年、アメリカ・ポートランド市との姉妹都市提携 65 周年を迎えたことから、65 周年を象徴する統一的な記念ロゴを制作します。

このたび、記念ロゴの制作に当たり、札幌市立大学デザイン学部の学生にロゴデザイン案の募集を行ったところ、10 作品の提出があり、これらの候補作品の中から、市民の皆さまによる投票と選考によりロゴデザインを決定することといたしました。

記念ロゴの活用を通じて、姉妹都市交流の PR、市民の認知度向上へとつながることを期待しておりますので、多くの市民の皆さまにぜひ投票していただきたいと思います。

1 65周年記念ロゴの制作

(1) 目的

65周年を象徴する統一的なロゴを制作、両市における事業やグッズ等に用い、姉妹都市交流のPR、市民の認知度向上につなげる。

(2) 候補作品

ポートランドの美術系大学PNCA (Pacific Northwest College of Art) と協定を結び、交流を行っている札幌市立大学デザイン学部の学生から候補作品の募集を行い、10作品 (別紙参照) の提出があった。

2 ロゴデザイン投票

(1) 投票期間

3月13日 (水) 14:00～3月24日 (日) 17:00

(2) 投票方法

投票受付サイト (https://www.city.sapporo.jp/kokusai/sistercity/portland65th_logo.html) から投票

(3) 投票・選考結果の公表

得票数が多い上位3作品の中から両都市の姉妹都市交流関係者の協議により最終的に記念ロゴを決定。投票・選考の結果は4月上旬ごろにホームページで発表予定

(4) 記念品プレゼント

決定された記念ロゴに投票を行った方の中から抽選で10人に記念品をプレゼント



▲投票受付サイト
QR コード

3 姉妹都市提携65周年記念事業 (予定)

5月から6月にかけて開催されるポートランド最大のおまつり「ローズフェスティバル」に、秋元市長をはじめとする訪問団が参加するほか、秋をめぐりにポートランド市からの訪問団が来札する予定。

そのほか、65年にわたる両市民の交流の歩みや、互いのまちの魅力を再認識し、広く市民の異文化理解を促進するための、さまざまな交流事業を実施予定。

【問い合わせ先】

総務局国際部交流課 伊藤・細川

電話：211-2032、ファクス：218-5168

札幌・ポートランド姉妹都市提携65周年記念ロゴデザイン候補作品

候補作品デザイン	作品テーマ等
	<p>札幌市がポートランドに対して姉妹提携都市30周年を記念して寄贈した釣り鐘をモチーフに、お互いのまちを代表する花であるライラックとバラの紋様をあしらった。成長と交流のイメージをもつピンクを用いて、両者の交友がこれからも続いていくことを印象付けている。</p>
	<p>両市の“交わり”をコンセプトとし、両市が交わり合うようなイメージでデザイン。札幌を象徴するスズランの花とポートランドを象徴するバラの花をモチーフとし、2つが融合したような配置で描き、両市の市旗にある星とダイヤの形や、両市旗に共通するブルー・グリーンのカラードesignを組み込んでいる。</p>
	<p>札幌市の鳥であるカッコウと、ポートランドの象徴であるバラを取り入れたデザイン。札幌市とポートランドの市旗に含まれている青色を使い、お互いの市に親しみがあるような配色となっている。カッコウが啜えている黄色いのバラには、花言葉である「友情」「平和」という意味を込めている。</p>
	<p>2つの都市が握手をする様子が両都市のつながりを強調。両都市のシンボルの存在の建物や山などをモチーフとし、姉妹都市のロゴであることをアピールしているほか、札幌は赤、ポートランドは青と色を分けることで握手の行為をより分かりやすく引き立てている。</p>
	<p>ポートランド市のポートランド・ビル入口上部と、札幌市の芸術の森野外美術館に展示されている「ポートランドシア」を共通点として見出し、モチーフの中心としてデザイン。さらに、両市の特徴を表現するため、ポートランド市を象徴する「バラ」と、札幌市を代表する「スズラン」、アクセントとして「カッコウ」を取り入れたデザインとしている。</p>
	<p>両市の市旗をモチーフとし、「6」の中心にある六角形は、札幌市の市旗や市章から取り、「5」はポートランド市の市旗にある青いラインをモチーフとしたもの。また、全体的にシンプルな形とし、過去のロゴイメージとは異なる、新たな側面で表現したほか、カラーは両方の市旗に共通する青と緑とした。</p>
	<p>札幌とポートランドをつなぐもの・類似するものをモチーフとし、両市の街の中心にある公園のトレードマークとして存在する「さっぽろテレビ塔」と「ワシントンスクエア凱旋」、市の花である「ライラック」と「バラ」を取り入れた。中心には開拓使のマークである星を置き、両市が開拓使によって歴史がはじまったことを表現している。</p>
	<p>過去の周年記念ロゴに合わせ、「エレガントさ」を意識してデザイン。札幌とポートランドに共通する都市と自然の調和を意識し、札幌のモチーフには「カッコウ」、ポートランドのモチーフには「フッド山」を採用。また、両市のモチーフに星をプラスして、「華やかさ」と両市の未来の「明るさ」をイメージ付けている。</p>
	<p>65年もの間、良好な関係を築いている根幹に「つながり」や「親和性」があると考え、札幌市の市章にもなっている六角形とポートランド市の市章にもなっている円を線で結び、両市が近い緯度に位置していることを表現。また、65から切り抜いて線を表現していることで、線（つながり）と数字を一体化させ、両市のつながりが65年続いているということを表現している。</p>
	<p>両市が築いてきたこれまでの関係と、これからの未来に築かれていく関係性をコンセプトにデザイン。両市の象徴とされる花のスズランとバラをモチーフとし、花は両市を表し、茎の部分からせん状に絡み合うことで、本物の姉妹のような強いつながりがあるという意味が込められている。</p>